

「防災・災害ケア基礎講座」

公開講座

地域連携に基づき、学生や市民の方々に対して防災・災害ケアの意識向上及び発災後には個々の立場で活動ができるよう「防災・災害ケア講座」を定期的に提供することを目指しています。初年度は、わかりやすい学生向け・市民向けの入門講座として開講し、受講者の災害に対する意識を高めることを目的とします。

熊本地震の際、熊本学園大学は、「だれをも受け入れる」「管理はしないが、配慮はする!」との方針で、避難者の居場所づくりに成功している。そして、形式的な避難規則ではなく、「日常の中で培われている判断力を応用する」対応で、避難所として見事に成功した45日間の実践をリアルに紹介する。

対象

主として、厚木市内5大学の学生及び市民の方々
(市外の希望者も可)

実施方法

- コロナ感染対策を考慮し、今年度はzoomセミナー。
- なお、今回の講座では、受講者に簡単なアンケートを取り、次年度以降のプログラム実施に役立てさせていただきます。

実施日時

2021年9月7日(火曜日)

参加方法

- ・ 参加費無料
- ・ 参加申し込みは、下記アドレスから登録

URL:<https://kait-ccd.jp/>
(トップページのお知らせの欄から入ってください)

QRコードからも
登録できます▶



プログラム(1日講座の日程)

	【午前の部】
10:30	開講挨拶 神奈川工科大学 小宮 一三学長
10:35	趣旨説明 地域連携災害ケア研究センター長 山家敏彦特任教授
10:40	基調講義「熊本地震にて大学が避難所を開設した経験から ～災害弱者を排除しない避難所運営をめざして～」 熊本学園大学福祉環境学科 花田 昌宣 教授
11:40	指定質問者 地域連携災害ケア研究センター長 山家 敏彦 地域連携・貢献センター長 小川 喜道
12:00	昼休み・休憩
	【午後の部】
13:00	「厚木市のハザードマップの理解と防災の取組」 厚木市危機管理課
	「神奈川工科大学の防災・災害対応の取組」 神奈川工科大学管財課
13:50	「長期避難生活における「生活不活発病」を防ぐには？」 神奈川工科大学基礎教養・教育センター 高嶋 渉 准教授
14:35	「災害時における情報収集のポイント」 神奈川工科大学情報ネットワーク・コミュニケーション学科 塩川 茂樹 教授
15:20	講座のまとめとアンケートのお願い
15:30	終了

主催：神奈川工科大学 地域連携災害ケア研究センター 共催：厚木市大学連携・協働協議会 協力：厚木市



地域連携災害ケア研究センター

問い合わせ

神奈川工科大学 工学教育研究推進機構 地域連携・貢献センター内(地域連携災害ケア研究センター管理室)
Tel:046-291-3153 Fax:046-291-3212 E-mail:contact@kait-ccd.jp